

私たちの生活と経済 消費者と経済 ～ 一人暮らしにかかるお金を考えよう ～

(教科書 p.125-126)

はじめの考え

*あなたは給料が19万円の社会人です。一人暮らしをする場所は、何を重視して選びますか？

*19万円の給料を、何のために、いくら使いますか？ (例)家賃…〇〇万円

一人暮らしをするならどこに住む？

自分の意見 *自分の選択に○をつけて、理由を書きましょう。	参考にしたい他の人の意見
私は(○〇市 □□市 ☆☆市)に住みたいです。 理由は…	〇〇市を選んだ人の意見
	□□市を選んだ人の意見
	☆☆市を選んだ人の意見

給与明細書を読む *給与明細書の資料から、読み取れることや、気付いたことを書きましょう。

生活費にいくらかけるか考えよう

*給料 19 万円のうち、税金や社会保険料等を納め、手元に 16 万円残りました。手元の 16 万円を、何のために、いくら使いますか？ A～G の項目について、自分の考えに最も近いものを選び、○をつけましょう。

*◎の式を用いて、計算結果がマイナスにならないように計算しましょう。

*優先度の高いもの、普通くらいのもの、低いものを1つ選び、○をつけましょう。

支出項目	金額			優先度
A:住居費(家賃)	8万円	6万円	4万円	高・普・低
B:食料費	5万円	3.5万円	2万円	高・普・低
C:交通費	5万円	1.5万円	0.5万円	高・普・低
D:娯楽費	3万円	1.5万円	0.5万円	高・普・低
E:被服費	5万円	3万円	1万円	高・普・低
F:通信費	1.5万円	1万円	0.5万円	高・普・低
G:教養費	3万円	1万円	0円	高・普・低
H:その他(電気代・医療費等)	目安…1.5万円			高・普・低

◎手元にあるお金 16 万円 - 費用の合計【 】万円= 貯蓄額(差額)【 】万円

*他の人が、どの選択基準を優先して考えていたか、参考にしたい人の意見をメモに残しましょう。

レポート *この先も一人暮らしを続ける場合、給料を何のために、いくら使いますか？

～希少性の見方・考え方を踏まえ、自分の「はじめの考え」と比較しながら書いてみましょう～

*授業を終えて、今回学んだ内容の意義や新たな疑問を書きましょう。